

ひかりと いのちのなかま

光寿院 住職 酒生 文弥



妻と息子
Half Birth Dayの記念写真



実家の浄土真宗本願寺派浄福寺



2019年8月 ソウルでのILC(国際リーダー会議)にて
評論家・ジャーナリストのH.A.ムガル氏と

きらめきプラス volunteer どの出逢い

今回、本誌編集責任者の小林智清さまとの邂逅を得て、「ひかりといのちのなかま」と題しエッセイを連載させていただくことになりました。

人生はご縁の連続ですが、編集者・読者のみなさまとの出会いに心より感謝申し上げます。いずれテーマを絞ってお話しさせていただくつもりですが、まずは私の個人史におつきあいください。

浄土真宗本願寺派 得度(僧籍)
教師(住職資格) 頭座(僧侶最高位)
光寿院 www.kojuin.com/

昭和61年1月〜12月 ニュージャージー州立ラトガース大学大学院ヘロタリー奨学生留学
昭和62年3月31日 龍谷大学大学院後期課程修了(仏教学・比較宗教学)
同大学院から昭和59年9月〜昭和60年8月カリフォルニア大学大学院宗教学研究科へ文部省奨学生留学
昭和57年3月31日 財松下政経塾(第1期生修了)
昭和55年3月31日 早稲田大学政治経済学部卒業
昭和31年9月8日 福井市篠尾町 浄土真宗本願寺派浄福寺

さこう ふみや
酒生 文弥



幼少期から 早稲田の杜

昭和31年9月8日、福井県足羽郡酒生村(現福井市篠尾町)に、8世紀(753年)から続く浄福寺の長子として生を授かりました。得度(正式な僧侶資格)したのは大学生になつてからです。7歳から毎日仏事に勤しんできました。同級生達が学校から帰ると田んぼや山に入つて手伝うように、私は檀家さん参りをしました。塾も予備校もない田舎で、みんな公立の学校教育しか受けていませんが、有名大学に進んだ同級生も多いです。

山村の豊かな自然に遊び、テレビもNHKと日テレだけで、勉強に打ち込める健全な環境でした。中高と地球科学部に所属し、宇宙と地球の歴史に夢を馳せました。先輩に有名な地球物理学者で今は亡き竹内均東大教授がおられ、後に直接薫陶を受けました。映画『日本沈没』オリジナル版に出演されています。

夏休みはボーイスカウトと化石探しに夢中でしたが、いまや福井は県立恐竜博物館で有名。少年時代の夢が叶つてとても嬉しいです。ご近所の永平寺とともに、帰

省するたびに足を運んでいます。藤島高校は進学校でしたが、受験勉強は嫌いで読書三昧に過ごしました。当時の高校生は、喫茶店に入るのさえ禁じられていましたが、こっそりコーヒーデートをしていました(笑)。清純な青春でした。

高校の進路指導に従つて東大法政学部を受験しましたが落ち、早稲田大学政経学部和東京外語大に受かった。迷わず早稲田を選びました。

「測り縄は、私の好むところに落ちた(聖書・詩編)」。村井資長総長が入学式で述べられたとおり、自由闊達な在野精神が横溢する早稲田の杜は私にうつつけの青春を与えてくれました。

フランス語クラスに在籍し、空手道誠心会とESSに「出入り」しながら、本も映画も好きにだけ楽しみました。法律や会計も少しかじりましたが、原始的なコンピュータクラスでAIR(AI+IoT+Robot、私の造語)文明の到来を予感。システム知識に頼る土業(医師、官僚など)などデジタルな専門家はいざ知らなくないと達観し、リベラル・アートの専念しました。

アルビン・トフラーの『第3の波』の子見をはるかに超えている現在。早稲田の杜で幅広く学んだ文明観は正鵠を射ていました。同窓の友人に、北原義一三井不動産社長・野田佳彦前首相・亀山千広前フジテレビ社長・大熊一之東京地裁判事らがいます。

親戚はほとんど 日系アメリカ人

父方祖父母が1933年に仏教開教使として渡米、収容所を経て戦後アメリカに帰化しました。そのため父以外のSakow一族は全員が日系アメリカ人です。

ニューヨークに住む伯父Toshiko(故ジャニー喜多川さん・ロッキーマンさんらの親友)は工業デザイナーとして成功、その長男Bruceは映画脚本家(『13日の金曜日』など)として活躍。サンディエゴの叔父Raymondは空母ミッドウェイ下士官として朝鮮戦争・ベトナム戦争を闘いました。三人とも仏さまになられてしまいましたが、現在40家族を超えるアメリカの親族には大いに感化されています。



松下政経塾一期生として再会 野田佳彦前首相

英語は一族の共通語な訳ですから、独学でマスターしました。

1978年に2カ月あまりカリフォルニア、ニューヨーク、ワシントンなど一族を訪ねながら全米を遊学。見学した国連に感動、事務総長になりたいと思いました。

卒業に臨み、国連事務総長をめざそう(日本人では無理と後に判明)でも留学など学費が……。なら海外特派員か商社マンを(でも寺を継ぐため中退だろう)などと考えていた4年生の時、新聞で松下政経塾の創設・塾生募集の広告を見つけ、その世界的な講師陣(ガルブレイス、ヴォーゲルなど)に惹かれ、ダメ元で受験。なんと1期生として入塾できました。野田君(野田佳彦前首相)と一緒に驚きました。

松下幸之助塾長（1期生は、塾長自らが運のあるなしを觀られて最終決定されたようです）から毎月直接頂いたご講和・懇談の内容はいずれご紹介いたします。

牛尾治郎ウシオ電機会長・緒方彰NHK解説委員長にご指導いただいたて、国連に進む道を模索しながら素晴らしい研鑽の日々、2年間を過ごしました。

弟と友人の往生 龍谷大学大学院

私は弟2人の3人兄弟ですが、次男信弥は頭抜けて才能に満ちていました。理系の頭脳でありながら特に画力に優れ、手塚治に憧れて高校時代から手塚賞に毎年応募していました。漫画執筆と美術（油絵）に打ち込みながら現役で京大法学部合格。高坂正暁ゼミで国際政治を学びつつ京大美術部長を務め、ついに4年生の時に漫画作品が「小学館漫画新人大賞」に輝きました。プロとして『ビッグコミック・スピリッツ』に連載が始まったのです。

しかし、昭和57年1月11日に（かなり計画的に）自死を遂げてしまいます。当時、米ソ核冷戦のたけな

わで軍拡競争と代理戦争にあけられる世界に絶望した旨が遺書にありました。私自身、幼少期に囲炉裏に落ちて右手を大火傷するなど、トラウマの塊なのですが、人生最大のショックで心身ともに打ちのめされました。

弟の死の前後に、高校・大学と親友だった宇佐美典久君（映画監督の卵）の病死、高校友人の木下真弓さん（詩人）の交通事故死、弟の京大での親友坂田仁根君（毎日新聞記者）の後追い自死など、死別という「愛別離苦」最大の無常の集中砲火にあいました。

みな20代前半。若い人が先に逝くことを「逆縁」と言いますが、逆縁の仏さまほどご加護は強く、常にこの4人を弔い念じています。

当時の政経塾は最長5年まで研修が許されていましたが、打ちのめされた私はまず自らが救われたく、また、かねて抱いていた「宗教の全体像」を見極めたい（そして「霊性統合」を実現したい）という思いから、2年で塾を辞して龍谷大学大学院に転じ、仏教と比較宗教を研究する生活に入りました。代々木ゼミナール・ECCなどで学費と生計を賄いながら大学院博士課程

を修了しました。文学青年たちと思い切り思索と煩惱を尽くせた京都とアメリカでの5年間。仏教を修め、「宗教を見切る」ことができました。

コルモス（現代における宗教の役割研究会）の本願寺代表として、金光教泉尾協会の三宅善信君（祖父の三宅歳雄師はWCRP、宗教と平和世界会議の実質的創設者です）らと、日本にあるほとんどの宗教（多くの新宗教を含む）を実地踏査でき経験知を深めることができたことが最大の収穫でした。

上皇上皇后両陛下 ダライラマ法王との出会い

昭和57年、当時の皇太子殿下ご夫婦、ご成婚記念事業「海外青年派遣」団員に選ばれ、さらに総理府の試験に通って国際渉外（通翻訳と対外交渉）としてサウジアラビアに2ヵ月あまり派遣され、実用英語のプロデビュを飾らせて頂いた年でもあります。帰国報告会で美味しいお酒をいただきながら、両陛下からお言葉を頂戴したことは大きな荣誉です。

「イスラームは（絶対他力という点で）浄土真宗に似ている」という私

のご報告に、「やはり日本の神仏の対局にある点もある。井筒俊彦さんの『イスラーム文化』を読んでみると良い」とご教示賜りました。まもなく令和天皇のご即位式典ですが、世界に類を見ない皇室を頂ける日本国民であることは幸福の至りです。

文部省とロータリー財団から奨学金を獲得して、カリフォルニア大学サンタバーバラ（UCSB）大学院とニュージャージー州ラトガース大学大学院に昭和59年9月から1年ずつ留学できたことは、私独自の『宗教統合原理』を確立するうえで得難い体験でした。すべての宗教は「宗教文化財」であり、すべての教えは同根であり、帰一します。他の章で紹介したいと思います。

UCSBでは、またダライラマ法王と邂逅できました。「西洋の科学と東洋の智慧の幸せな結婚」と題する二日間のご講演は、私の世界観と使命感を確立していただきました。

その後、日本で2回対談させて頂いたのですが、近くこちらからダラムサル（インド北部の法王庁）に赴いて、「A」をいかに仏陀へと



ギリシャ正教大司教とジュネーブにて



ダライ・ラマ法王と(日本での2回目の対談時)

導けるか」をテーマにじっくり対談させていただきたいと念じています。

最初の結婚と ルーマニアとのご縁

大学院修了後、龍谷大学で「平和学」の講師を勤めましたが、指導教授の信楽峻磨学長のお勧めでお見合いをし、大田区にある厳正寺に婿入り(後に養子にしてくれてなかつたことが発覚)し女男2児を授かりました。北條重時直系の大寺院で、ご皇室・北條政子・親鸞・織田信長の血脈を誇る家柄でした。武蔵野女子大(当時)・中央大学で文化史や比較宗教を教えながら理想のサンガ(なかま)づくりを念じて仏事に専心。しかし息子の成長に伴い、「私の存在は形のみ」と実感する中で、お暇をいただき離別しました。

その前後に、がん免疫療法の嚆矢(1948)であるハスミワクチンの2代目蓮見賢一郎先生に目をかけて頂き、NPO免疫療法懇談会(WIS)理事長として今日まで「免疫療法と統合医療(統合厚生)」の普及・啓発に従事しています。先般往生された安保徹新潟大学教授など自然な最先端医療をリードする殆どの識者や運動体に出会っています。蓮見先生の仲介で、

ルーマニアの女性と再婚。ボランティアでルーマニアからの経済使節を支援したことから、ルーマニア経済産業省の要請で2014年に「在日本ルーマニア商工会議所(Societate)」を設立し、会頭を務めています。政界・宗教界のご縁は十二分に頂いて来ましたが、財界のご縁は希薄でした。政経塾1期生中川暢三元加西市長の紹介で、APAホテル&リゾートグループの元谷外志雄代表とご縁を結び、現在大変かわいがっていただいております。

生かされてあるいのち とご縁をどう活かすか

「毎日頂いているこの世でのいのちとすべてのご縁をどう生かすか」とご縁を活かすも殺すも自分次第」。人生の折り返し地点に立つてわれながら数奇な運命(運ばれる命)。つくづく実感しながら深く感謝いたします。

超有名人、APAホテル社長である元谷美美子夫人は、藤島高校の先輩です。現在、破竹の進撃を続けているAPAホテル&リゾートグループの代表(総帥)は旦那様の元谷外志雄さんです。私は元谷塾長

が主催されている、毎月第3木曜日に赤坂見附のAPA本社で開催される「勝兵塾(shohheiku.com)」の講師特待生もおおせつかつています。おかげさまで錚々たる知識人、政財界人、各国大使らと貴重なご縁を深めさせていただいています。今年ルーマニア人新伴侶と、4半世紀ぶりに男児を授かりました。この子の成人まで生涯現役で可能な限り生かされ抜く。そういう決意で一杯です。

この連続エッセイを機縁に、みなさまに「ひかりといのちのなかま」に加わっていただき、私が恵まれてきた有り余るご縁と経験知を大いにご活用ください!



新家族と共に